



ハンガリー政府観光局 ニュース 2010年1月29日 No.179

- **ブダペスト春の祭典(3月19日から4月5日)**
- **世界！弾丸トラペラーハンガリー取材**
- **グルメの木曜日(2月18日)**
- **【コラム】ハンガリー見聞録(連載12回) その7 ブダペストの年末年始 ①**

ブダペスト春の祭典

恒例のブダペスト春の祭典が3月19日から4月5日まで開催されます。

待ちわびた春の訪れを告げる音楽の祭典「ブダペスト春の祭典」は今年で10回を数え、クラシック、ミュージカル、ジャズ、ダンスなどの豊富な音楽パフォーマンスや展示会を含む中欧最大級の音楽祭としてすっかり定着しています。

なお、4月4・5日の2日間は、デアーク・フェレンツ広場で「春のワイン・ジャズフェスティバル」も開催されています。

主な劇場プログラムをご紹介します。

芸術宮殿	3月19日	ベートーベンの夕べ
	3月20日	デンマーク王立バレエ
	3月23日	バーンク・バーン
	3月25日	バルトーク・ベーラ生誕記念管弦楽団の夕べ
	3月27日	エヴリン・グレニー コンサート
	3月28日	パコ・デルシア コンサート
	3月31日	バレエ ストラビンスキーの夕べ
	4月1日	ロマンチック アリア リサイタル
	4月5日	フェレンツ・リスト室内楽団 30年
聖イシュトヴァーン大聖堂	3月30日	ELTE バルトーク・ベーラ合唱団
国立歌劇場	3月19日	デンマーク王立バレエ
	3月20日	リハルト・シュトラウス: バラの騎士
	3月21日	リハルト・シュトラウス: バラの騎士
	3月22日	エルケル: ドーサ・ジュルジュ
	4月2日	ワグナー: パリシファル
オペレッタ劇場	3月19日	中国の不思議な役人
	3月20日	中国の不思議な役人
	3月21日	中国の不思議な役人
ターリア劇場	3月20日	100人のジプシー楽団 25周年
	3月22日	バレエ: アンダルシアのフラメンコ
	3月23日	バレエ: アンダルシアのフラメンコ
	4月3日	ベルディ: レクイエム
フェシュテティッチ宮殿	3月31日	ツィンパロムリサイタル
ハンガリーラジオ	3月28日	ワタナベ・マイコ ピアノリサイタル

詳細プログラム、オンラインチケット購入などは<http://www.btf.hu/btf2010/> から(英語)



世界！弾丸トラベラーハンガリー取材

日本テレビの旅番組「週末のシンデレラ 世界！弾丸トラベラー」の制作チームがこの度ハンガリーを訪れ、温泉、グルメ、ワインなどの魅力取材しました。

OL が週末を利用して旅に出ることを想定したこの番組では 1 泊 3 日が普通ですが、今回は初の中欧取材ということで、2 泊 5 日の日程でした。放送も日本テレビ系列で次の 2 回にわたります。

1 回目：2 月 20 日(土) 23:30 から 23:55

2 回目：2 月 27 日(土) 23:30 から 23:55



グルメの木曜日(2 月 18 日)

ハンガリー政府観光局は第 5 回グルメ(大食い)の木曜日 Torkos Csütörtök 2010 を今年は 2 月 18 日木曜日に開催します。

この日は全国の約 1,300 のレストランが参加し、料理やドリンクを半額にするキャンペーンで、昨年は 23 万人が参加しました。当日ハンガリーにご滞在中でしたら、この幸運をお楽しみください。

今年のキャンペーン参加レストランは<http://www.menjunkenni.hu/> から検索可能です。(1 月 29 日から(ハンガリー語))



【コラム】ハンガリー見聞録(連載 12)

その7 ブダペストの年末年始 ①

皆さま、お久しぶりです。ハンガリー大好き、Irén です。遅ればせながら、今年も旅のレポートをさせていただきますので、どうぞよろしくおつきあい下さいませ。

実はこのたび、ブダペストで年末年始を過ごしてまいりました。私にとって、いつかは体験してみたかった憧れのシルベステルで、もう大喜びで新年を迎えました。

年末のブダペストの様子は、日本とまるで違うところもあれば、日本でもそんな感じ…というところもありました。違うんだな～と思ったのは、まず、大みそかぎりぎりまで街なかの至るところに、クリスマスツリーが出ていたことです。たとえば、ヴルシマルティ広場では12月29日までクリスマスマーケットで(毎年、クリスマスマーケット期間は変わるかも…政観さんの情報をチェックしましょう)、広場の一角に大きなクリスマスツリーがデーンとそびえ立っていましたが、31日もそのままでした。

ツリーばかりではなく、ほんのちょっとしたさまざなディスプレイや装飾も、クリスマスを過ぎても普通にそこかしこにあったり、お店では新年になってもクリスマスカードを売っていたりで、これはやはり、クリスマスを重要なお祝いの日とするヨーロッパらしい風景なのではなからうかと感じました。

また、大みそかに対する人々の思いには、格別なものがあるようです。

クリスマスを過ぎて、シルベステルに向かう日々に、人々はお互いに“BUEK！”と声を掛けあいます。Boldog Új Évet Kívánok！の短縮形で、幸せな新年を願います、よいお年を、といったごあいさつです。出会ったり別れたりする際に、笑顔でBUEK！と口々に言い、何だか暖かいいい気分になれます。

みんな、大みそかをどこで誰とどのように過ごすのが最大の関心事のようで、私も、滞在先のホテルで、2人のスタッフとの立ち話中、2回ともその話題を振られました。

日本では、おうちで家族そろってしみじみと…という感がある大みそかですが、ブダペストでは、友達と、人のたくさん集まる場所でのぎやかに、というのがシルベステルの過ごし方なようです。でも、日本と同じように、テレビでは年越し特番みたいな番組があり、ひと晩中放送が続きます。暖かいお部屋で、テレビにかじりついでシルベステルも捨てがたい！

では、また次回に、そのシルベステルの実態を皆さまにお知らせ致します！



赤メトロ終点・ウルシュヴェゼーレテレの駅そばのショッピングモール内のスーパーで、野菜売り場のおじさんが、こんな派手なかぶり物姿で、お客さんに愛想を振りまいていました。驚いて、思わず写真がブレました…。



大みそかにして、このトナカイ(?)…。クリスマスはもう終わっております。右下がウルシュヴェゼーレテレ駅です。